

【登壇者プロフィール】

〔第1部〕 三重県のワーケーション取組紹介 〈プレゼンター〉



鈴木 英敬(すずき えいけい)

三重県知事

1974年兵庫県出身。東京大学経済学部卒業後、通商産業省(現経済産業省)入省。2011年三重県知事に当選し、現在3期目。2016年5月のG7伊勢志摩サミットの誘致をけん引し、無事かつ成功裏に完遂。政府のIT総合戦略本部や偏見・差別とプライバシーに関するWG等に参画するとともに、全国知事会の地方創生対策本部本部長やデジタル社会推進本部副本部長、ワクチン接種特別対策チーム副チーム長として、地方の立場から国の政策を強力に推進。日本忍者協議会会長、全国海女文化保存・振興会議会長等に就任。2014年度世界経済フォーラム ヤング・グローバル・リーダーズに選出。家族はシンクロナイズドスイミング五輪メダリストの妻・武田美保と一男一女。現職知事では初めて第一子、第二子とも育児休暇を取得。

〔第2部〕 トークセッション 〈モデレーター〉



豊田 圭一(とよだ けいいち)氏

株式会社スパイスアップ・ジャパン 代表取締役 神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部
客員教授

1969年埼玉県生まれ。幼少時の5年間をアルゼンチン(ブエノスアイレス)で過ごす。1992年上智大学経済学部を卒業後、清水建設株式会社に入社。海外事業部での約3年間の勤務を経て、留学コンサルティング事業で起業。約17年間、留学コンサルタントとして留学・海外インターンシップ事業に従事する他、SNS開発事業や国際通信事業でも起業。2011年に株式会社スパイスアップ・ジャパンを立ち上げ、主にアジア新興国で日系企業向けのグローバル人材育成を行っている。その他、グループ会社を通じて、7ヶ国(インド、シンガポール、ベトナム、カンボジア、スリランカ、タイ、スペイン)でも様々な事業を運営している。2018年スペインの大学院IEで世界最先端と呼ばれる“リーダーシップ”のエグゼクティブ修士号を取得。

〈パネリスト〉



箕浦 龍一(みのうら りゅういち)氏

総務省大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官、(社)日本ワーケーション協会特別顧問、(社)官民共創未来コンソーシアム理事

行政管理局時代に取り組んだオフィス改革を中心とする働き方改革の取組は、人事院総裁賞を受賞(両陛下に拝謁)。

中央省庁初の、基礎自治体との短期交換留学も実現するなど若手人材育成にも取り組む。幅広い人脈を生かし、働き方、テレワーク、食と医療など様々なプロジェクト・コミュニティに参画する異色の官僚。



栗生 万琴(あおう まこと)氏

なごのキャンパス 企画運営プロデューサー、株式会社LEO 代表取締役 CEO

三重県出身。エンジニアとしてソフトウェア開発に従事した後、IT人材サービス会社にて社内ベンチャ

一を立ち上げ、Web アプリ開発に特化した事業を手掛ける。2012 年 女性初の役員に就任、新規事業をグループ分社、産官学連携スタートアップの立ち上げ支援を担当。AI スタートアップの創業を経て、2019 年 10 月 名古屋駅前の廃校になった小学校 次の 100 年をつくるインキュベーション施設「なごのキャンパス」プロデューサー就任。2020 年 4 月より ZIP-FM「Startup [N]」のナビゲーター就任。2021 年 4 月 武蔵野大学 アントレプレナー学部教員就任予定。



東原 祥匡(ひがしはら よしまさ)氏

日本航空株式会社 人財本部 人財戦略部 厚生企画・労務グループアシスタントマネジャー

2007 年日本航空株式会社入社。関西国際空港における空港業務や国際線を中心とした客室乗務員の業務を経験した後、2010 年より客室乗務員の人事、採用、広報等を担当。2015 年末より 2 年間の社外出向を経て、2017 年 12 月より現職。

現在は、規程管理や勤怠といった労務対応、ダイバーシティ&インクルージョンの推進において LGBTQ の理解促進やワークスタイル変革のなかでも特にワーケーションの推進を主で担当。